

# 八次中通信

令和2年度

第9号

発行日 令和3年1月19日  
発行責任者 校長 小丸 幸則

“Boys be ambitious ”

『少年よ大志を抱け』



令和2年度第3学期がスタートしました。三次市内では、新型コロナウイルス感染症が急拡大して大変心配な状況となっております。このことに関わり、八次中学校では、先週1月15日、次の学校行事について、止む終えず変更・中止を決定させていただきました。特に、3年生は入試直前の大変大事な時期でもあり、八次中学校は、引き続き、感染症予防対策を確実にを行い教育活動がストップしないよう努めます。

各ご家庭におかれましても引き続き感染症防止に何卒ご理解とご協力をお願いします。

●1月22日（金）PTA常任委員会・生活安全部合同会議・第2回PTA役員選考委員会⇒中止

●2月3日（水）令和3年度新入学生説明会⇒中止

●3月17日（水）～19日（金）2年生修学旅行（関西方面）⇒3月18日・19日山口方面1泊2日に変更

\*\*\*\*\*【1月15日 八次中学校立志式 校長式辞から】\*\*\*\*\*

（前略）今年の立志式は、新型コロナウイルス感染症予防の為、リモートでの開催としましたが、義務教育9年目が終わる3年生が、一人の人間として『志』を立て、将来の生き方や決意・目標を表明することにより、大人になる自覚を深めることと、その決意を受け止めた3年生を初め、1・2年生の後輩の皆さんが自分の将来の目標を探る契機としてほしいことを願い、なんとか6年間の伝統をつなぐことができたことに感謝したいと思います。3年生は、先月12月16日に各学級全生徒の前で、自分の将来に向けての「立志の決意」を表明し、今日は、各学級から選ばれた皆さんが、3年生64名を代表して自己の「立志の決意」を発表してくれます。（中略）



八次中の学校教育目標「自律貢献」には、生徒の皆さんが「自分の力で、人として当たり前になるべきことを正しく判断して行動し、他人を思いやる心を持ち、人の為に役に立てる人間になることを目指してほしい」という願いを込めています。今日の代表の皆さんの「立志の決意文」を事前に読みましたが、発表者全員の決意文の中に「自律貢献」の志が込められています。（中略）

1・2年生の生徒の皆さん。そして3年生のみなさん。発表者の決意を最後までしっかり聞き、自分の将来を想像し、それに向かって、自分はどのように人生を歩んでいくのかしっかり考えてください。そして、2年生は1年後、1年生は2年後、自分が、学年代表者となって、全校生徒の前で、堂々と立志の決意が述べられるように頑張ってください。” Boys be ambitious ” 『少年よ大志を抱け』 3年生64名全員が、今から出会う多くの人々の教養を栄養とし、さらに大きく成長することを祈念し、式辞といたします。 令和3年1月15日 校長 小丸 幸則

## 【3年生の立志式での発表を聞いて～2年生のデイリーライフへのコメントより】

●今日は、3年生の立志式を見ました。みんな目標があってそれに向かって頑張っているんだなあと改めて知り、すごいと思いました。すごい！かっこいいですね！3年生。

●自分たちも1年後はこのようにしっかり将来の計画を考えられるようになりたいと思いました。

●自分の将来の夢へあきらめない気持ちや頑張る姿勢などが伝わってきました。とてもすごかった。

●3年生が自分の将来について話をしてくれて、自分たちも3年生になったらやるので頑張ろうと思った。

●3年生の発表を聞いて多くの事を知ることができてとても為になった。来年が楽しみです。

●今日の発表は、全員が自分の夢に向かって目標がしっかりあってすごいと思いました。自分もはっきりと言えるようになりたいと思いました。

## 3年生代表の立志内容（骨子）

【菊地 凌弥】「誠」誠実は、自分との闘い。毎日すべきことをすること。自分自身にムチを打ってバスケットボールの練習や教科の勉強をしていたら、それが積み重なって僕の将来の夢が叶えられると思う。そのために、自分に足りないものを考え弱点を克服するためたくさん練習する。また、これから社会に出るには覚悟を持って責任ある行動をとれる人になりたい。

【山川 宗一郎】「健」どんなことが起きても健康第一。命が第一。自分の夢の航海士になるためには、様々な知識・技術の習得が必要だが、勉強だけでなく体力も必要。また、乗船内でのマナーやコミュニケーション能力も重要となる。日々の生活の中で人との関わりを大切にして理想の航海士を目指したい。

【松重 達哉】「頼」サッカーを通して多くの人からたくさんのことを学んだ。特に挨拶と感謝である。そして人に信頼されるような人間になりたいと思うようになった。また困った時は人を頼りまた頼られる人になりたい。夢の実現に向けて、今後も人との関わりを大切にし理想の人格を目指したい。

【新山 寛大】「進」今持っている通訳になるという夢を決してあきらめず、その夢が叶うように未来へ進んでいきたい。通訳になって外国の人々と仲良くなるために自ら進んでいく。そのために英語の力を伸ばすだけでなく、より高度な通訳をするためには国語力や全教科の様々な教科の能力を高める努力をする。

【森 郁晴】「創」作家になって、多くの人が、泣いたり笑ったり複雑な気持ちになるような心躍らせる、今までにないフィクションを創作したい。中学生になって初めて手にした本を読み、「文字だけでこんなにも情景を思い描くことができる」と本の素晴らしさに気付いた。そのために想像力・表現力を磨く勉強をしたい。

【折田 奨真】「動」自分の夢は動物園の飼育員。この夢を叶えるため、まずは、自分からしっかり行動し、正しいと思える行動を常にできる大人になりたい。そのために、高校で学力をしっかりと身に付け大学に行って動物に関する専門的な勉強を頑張りたい。そして夢を叶え、更に飼育についての勉強を一生続けていきたい。

【谷本 真織】「包」将来の夢は養護教諭。そして、包容力のある優しい人間に、養護教諭になりたい。養護教諭はいろいろな人と出会う。悩んでいる子もたくさんいる。その子の良い所も悪い所も含めて優しく包み込める人になりたい。しっかり勉強して大学に進み、大好きな保健室の先生になれるよう努力する。

【田森 柚帆】「満」夢の実現に向け、結果が満足いくものになるよう努力する。将来の夢は医療に係る仕事。人を支えたり助けたりできる医療現場を支える仕事はたくさんある。そのために今を大切にして、知識・技術だけでなく正しい言葉つかいや人を常に思いやれる優しい人になれるよう人との関わり方も身に付けたい。

【瓶割 瑠唯】「鍛」誰からも実力派と言われる声優になりたい。そのためにメンタルと体力を鍛える。その為には苦手なことに目を背けず自分の納得できるところまでやりきる。また、積極性を身に付け、自分から進んで行動していく努力をして基礎的なことを改善し人気声優をめざす。

【平 このみ】「守」自分が幼児期に憧れていた太陽のような保育士になりたい。そして子どもへの虐待をなくす。そのために保護者の心を守り子どもの心と体を守る。高校で学力のみならずコミュニケーション能力や芸術センスを磨き、いつか立派な保育士になって自分を見て「保育士になりたい」と思われるようになりたい。

### 住岡田教頭の講評から

皆さんの「志」には、大切にしたい共通点があると思いました。それは1・2年生にとって、自分の進路や将来のことを考えるうえで、とても参考になることであり、大人にとっては、初心に帰ることができる、心に響くメッセージでもありました。3年生のみなさんの「志」に共通するもの、それは、「人の役に立ちたい」という「社会貢献」への意欲です。それは、まさに八次中学校がめざしてきた生徒の姿でもあります。

さらに立派だと思ったことは、「志」を実現するために、自分が苦手なことやしんどいことにも取り組んでいくのだという具体的な決意を言葉にできているということです。

吉田松陰は「志をたててもって万事の源となす」という名言を残しています。

立志式で誓った志が、これから、エネルギーとなって、皆さんが未来を力強く、逞しく切り拓いていってくれることを願っています。

❀ 2年 井上 暖 くん

広島県スキー大会第2位 (残念ながら2月の全国大会は新型コロナの為中止が決定)

❀ 3年 半角 穂乃香さん

みよしことばフェスタ作品コンクール「三次市長賞」(最優秀賞) 受賞

受賞作品「ネガティブに生きる」～大河の一滴

三次市立八次中学校3年 半角 穂乃香

この本は、テレビでよく聞くベストセラー本で、何となく知っている内容だった。しかし、私は、普段、小説ばかり読んでいたため、知ってはいたものの買ってみるのはずるずると引き延ばしていた。中学3年生になると受検を目の前に感じるようになり、色々な悩みも抱えるようになった。そんな時に、本屋で見つけたこの本の「人生は苦しみと絶望の連続である」というサブタイトルに惹かれて、やっと「大河の一滴」を読んでみることにした。「私はこれまで二度、自殺を考えたことがある。」これがこの本の書き出しだ。最初に読み始めた時の印象は「ネガティブだなあ・・・。」だった。なぜなら、この本の著者である五木寛之さんの考え方は、「ポジティブになるには人生は苦しみと絶望の連続だと諦めることから始めよう。」というものだったからだ。私は今までポジティブ思考とは、明るいことや楽しいこと、プラスのことばかりを考えるものだと思っていた。そのためこの考えは受け入れ難いものだった。

「本当のプラス思考とは、絶望の底の底で光を見た人間の全身の驚きである。」筆者はこう語っている。この言葉で私は、「諦めることから始めよう。」という筆者の考え方に徐々に納得していった。天国があれば地獄があるように、マイナス思考がなければプラス思考は生まれないのだ。今までの私を含め現代の社会ではマイナス思考を嫌う風潮がある。辛い時や苦しい時があったとしても、あえてネガティブな感情を無視しポジティブに考えようとする。しかし、そのマイナス思考こそが日々の中での小さな優しさや差し込む光に感謝することができるチャンスだと思う。この本を読んで、光はない、優しさは貰えないものだと思いついた時に差す光、貰える優しさに満ち溢れる感情、これが本物の感謝であることに気付いた。もしもこのマイナス思考がなければ、この小さな優しさや光に気付くことができずに一生満足が出来ないまま終わってしまう。だからこそネガティブな発想が生きていく上で大切だと思った。「胸を張って遠くを見ることだけが希望を見つけることではない。悲しい時や辛い時には、うなだれて肩を落とす。深いため息をつく。そうすることによって自分を照らす希望の光の存在を、影が教えてくれるということも、またあるのではないのでしょうか。」この言葉がこの本の中で一番心に響いた言葉だ。私は、中学3年生になって受検を意識するようになり昔はできていたはずの勉強に行き詰まったり、大好きだったはずのデッサンが、受検になると辛くなってしまふようになった。そんな時、ネガティブになるのは良くないとプラスの事ばかり考えようとしていた。とはいえ、ポジティブになるのもなんだか疲れてしまう時もあった。そんな時は、無理に笑わず、たまには自分の気持ちに素直になってマイナス思考から始めれば光が見えて来るのではなかろうか。

この本を通して、私は、悲しみも力になり免疫になることを学んだ。勉強やデッサンで行き詰まったり苦しくなった時、辛くなった時は、一度肩を落として深いため息をついてみようと思う。人間関係に行き詰まった時は、元から優しくされないと諦めてみれば、不意に貰う小さな優しさに気付くことができるだろう。きっと本当の友達にも出会えると思う。だからこそネガティブに生きてみようと思う。

## 行事予定

1月20日(水)～22日(金) 3年生学年末試験

27日(水) PTA交通指導

28日(木) インターナショナルデー

2月 3日(水) 選抜I入試

4日(木) 5日(金) 1・2年生実力テスト

9日(火) 地域懇談会 16:00～

10日(水) PTA交通指導

17日(水) 学校関係者評価委員会・学校評議員懇談会 9:30～

19日(金) 2年生修学旅行最終説明会 18:30～19:30

24日(水) PTA交通指導

24日(水)～26日(金) 1・2年生学年末試験

3月 8日(月)・9日(火) 選抜II入試

11日(木) 卒業証書授与式

18日(木)・19日(金) 2年生修学旅行

25日(木) 修了式